

(社)兵庫県測量設計業協会会員
有限会社 倉本測量
Kuramoto Survey work Co., Ltd.

2017年度 環境活動レポート

(対象期間：2016年9月～2017年8月)



発行日：2017年12月19日
改訂日：

ごあいさつ

有限会社倉本測量は、近畿地区を活動範囲とし、測量・設計・GIS作業を通して社会貢献できるよう努力している企業です。平成4年の設立以来、多くのお客様から絶大な信頼とご支援を賜りながら堅実な経営を営み、お陰様で25年を迎えました。

この度当社は、エコアクション21に基づく環境関連法守り、電気・ガソリン・軽油の使用量の削減、一般廃棄物の削減、排水量の削減を推進し、グリーン購入にも参加し、地域の美化活動にも積極的な参画することにより、環境保全に取り組み推進します。

環境方針

当社は地形の測量・設計を主とする事業活動において、環境保全に取り組むことにより、環境負荷の低減を図るために、全社一丸となって、自主的・積極的に環境への取組を推進します。

- 1．環境関連法規制や当社が約束したことを遵守する
- 2．二酸化炭素排出量の削減を推進する（電気、ガソリン）
- 3．廃棄物の削減及び再生利用を推進する
- 4．水道使用量の削減を推進する
- 5．グリーン購入を推進する
- 6．測量における環境上の配慮に努める
- 7．地域美化活動へ参画を行う

制定日：2011年7月1日

改訂日：2015年12月4日

代表取締役社長 倉本 規

組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
有限会社 倉本測量
代表取締役社長 倉本 規
- (2) 所在地
本 社 〒669-3166 兵庫県丹波市山南町小野尻 1 1 8
営 業 所 〒669-3157 兵庫県丹波市山南町和田 1 2 4 9 - 1
- (3) 環境管理責任者・担当者氏名及び連絡先
責任者 測量部長 倉本 規

担当者 測量部 衣川 幸秀

TEL:0795-76-1699
FAX:0795-76-1704
- (4) 事業内容
測量・設計・GNSS
指定管理・3D動画撮影・太陽光発電による売電
- (5) 事業の規模
年間測量高 75,000千円 (29年度実績)

	本社			
従業員	8名			
延べ床面積	80m ²			

- (6) 事業年度 9月～翌年8月

認証・登録の対象範囲

登録組織名： 有限会社 倉本測量
対象事業所： 本社、営業所
活動： 測量・設計・GNSS・3D動画撮影・太陽光発電による売電

アクセス



主な環境負荷の実績

項目	単位	2014年度 基準年度	2015年度 (9月～8月)	2016年度 (9月～8月)	2017年度 (9月～8月)
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	13,692	15,741	11,416	12,613
電力	kWh	11,266	12,243	8,622	7,931
ガソリン	L	2,630	3,980	2,945	3,619
軽油	L	684	0	0	0
廃棄物排出量	kg	184	182	178	183
一般廃棄物	kg	184	182	178	183
産業廃棄物	kg	0	0	0	0
総排水量	m ³	446	433	444	454
化学物質	kg	0	0	0	0

2014年度だけは点検業務用の高所作業車をレンタルしたため軽油を使用した

環境目標及びその実績

(1) 中長期目標

項目		年度	2014年度 基準年度	2015年度	2016年度	2017年度
・二酸化炭素 排出量合計	kg-CO ₂		12,088	16,016	12,088	12,088
	対基準			132%	100%	100%
電力使用量	kWh		11,266	12,419	11,266	11,266
	kg-CO ₂ 対基準		5,982	6,594	5,982	5,982
ガソリン使用量	L		2,630	4,058	2,630	2,630
	kg-CO ₂ 対基準		6,106	9,421	6,106	6,106
燃費	km/L		12.3	12.3	12.3	12.3
	対基準			100%	100%	100%
・廃棄物排出量						
一般廃棄物	kg		184	184	184	184
	対基準			100%	100%	100%
・水使用量			446	446	446	446
	対基準			100%	100%	100%
・グリーン購入			23	23	23	23
	対基準			100%	100%	100%
・測定における 環境配慮			140	140	140	140
	対基準			100%	100%	100%
・地域美化活動 への参画			12	12	12	12
	対基準			100%	100%	100%

注記、変更点等については下記の「環境目標及びその実績(別注)」を参照

軽油の使用は2014年度のみであるため、基準値には含めていない

2015年度の目標値は基準値を大きく上回っているが、その理由は以下の通りである
・3次元撮影車両を用いた全方位映像作成という新事業のため、電力消費量及びガソリン使用量が増加し、当初の目標値では達成が困難なことが予想された

そのため、業務開始の数ヶ月間における実働作業から、必要なエネルギーの消費量調査を行い目標値再設定に適切な係数を下記の通り決定し、目標値を再設定することとした(目標値の再設定は実働作業を行う「2014年9月から2015年2月」までの期間を対象として行った)

電力使用量：対象期間における目標値を1.2倍とし、当初の目標値である「5,763kWh」から「6,916kWh」に再設定し、二酸化炭素の排出量もこの変更に従うこととした(2015年度)

ガソリン使用量：対象期間における目標値を2倍とし、当初の目標値である「1,428L」から「2856L」に再設定し、二酸化炭素の排出量もこの変更に従うこととした(2015年度)

二酸化炭素排出量：上記の変更に伴い、当初の目標値である「13,692kg-CO₂」から「15,916kg-CO₂」に再設定した(2015年度)

(2)2017年度の実績

項目	年度	2017年度における実績 (2016年9月～2017年8月)				評価
		2014年度 基準値	目標(基準比)	実績(基準比)	達成度	
・二酸化炭素 排出量合計	kg-CO ₂ 対基準	12,088	12,088	12,613	94.3%	×
			-14.3%	+6.0%		
電力使用量	kWh	11,266	11,266	7,931	142.0%	
	kg-CO ₂ 対基準	5,982	5,982	4,211		
			±0.0%	-29.6%		
ガソリン使用量	L	2,630	2,630	3,619	72.7%	×
	kg-CO ₂ 対基準	6,106	6,106	8,402		
			±0.0%	+37.6%		
月平均燃費管理	km/L 対基準	12.3	12.3	12.5	101.6%	
			±0.0%	+1.6%		
・廃棄物排出量						
一般廃棄物	kg 対基準	184	184	183	100.5%	
			±0.0%	-0.5%		
・水使用量	m ³ 対基準	446	446	454	98.2%	×
			±0.0%	+1.8%		
・グリーン購入	品目 対基準	23	23	53	230.4%	
			±0.0%	+130.4%		
・測量における 環境配慮	回 対基準	140	140	164	117.1%	
			±0.0%	+17.1%		
・地域美化活動	回 対基準	12	12	12	100.0%	
			±0.0%	±0.0%		

注)評価欄にて、○：達成、△：やや未達成、×：未達成

軽油の使用は2014年度のみであるため、基準値には含めていない

一般廃棄物の削減に関しては、主となるコピー用紙を取組対象とした

本年における電力の二酸化炭素排出量への換算係数は、2014年度関西電力公表の
0.531kg-CO₂/kWhを使用

グリーン購入における購入物品の合計品目は「86品目」であり、グリーン購入の割合は「63.9%」となった

測量における環境配慮に関しては、以下の項目を取組対象とした

- 現場への最適経路での往復
- 不要な伐採の禁止
- 現地作業の効率化
- 燃費管理の導入

(2) 来期目標

項目		年度	2017年度 基準年度	2018年度	2019年度	2020年度
・ 二酸化炭素 排出量合計	kg-CO ₂		12,613	12,487	12,361	12,235
				99%	98%	97%
電力使用量	kWh		7,931	7,852	7,772	7,693
	kg-CO ₂		4,211	4,169	4,127	4,085
	対基準			99%	98%	97%
ガソリン使用量	L		3,619	3,583	3,547	3,510
	kg-CO ₂		8,402	8,318	8,234	8,150
	対基準			99%	98%	97%
燃費	km/L		12.5	12.5	12.5	12.5
	対基準			100%	100%	100%
・ 廃棄物排出量						
一般廃棄物	kg		183	181	179	178
	対基準			99%	98%	97%
・ 水使用量	m ³		454	449	445	440
	対基準			99%	98%	97%
・ グリーン購入	品目		53	54	55	56
	対基準			101%	104%	106%
・ 測量における 環境配慮	回		164	166	167	169
	対基準			101%	102%	103%
・ 地域美化活動 への参画	回		12	12	12	12
	対基準			100%	100%	100%

環境活動の取り組み計画と評価

よくできた ままできた あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	評価（結果と今後の方向）
二酸化炭素排出量の削減 （目標未達成）		
・電力使用量の削減		目標値を達成することが出来た。
・ガソリン使用量の削減		車輛数の増加により、目標値自体はオーバーした。
・その他		「水道水使用量」の項目において数値目標を下回った。
		使用量が増えたガソリンについても、燃費目標は達成出来ている。車輛の増加という条件変化に対応した新しい目標値を設定したい。
電力使用量の削減 （目標達成）		
・空調の適正使用		空調の適切な使用と共に、緑のカーテンで直射日光を減らし温度調節に役立てた。
・業務の効率化		無駄な業務を減らし機器の使用を最低限に抑えると同時に余分なアイドリングタイムが発生しないように気を付けた。
・不要照明の消灯		日中は照明を半分のみ点灯させる等の工夫で必要以上の電力消費が発生しないことを心掛けた。
・設備の空転禁止		退社時に使用機器のオンオフをチェックしたり、不在時の空調・照明停止を徹底した。
ガソリン使用量の削減 （目標未達成）		
・移動コースの効率化		効率を考えた最短・最適な経路を意識した。
・不要なアイドリングストップ		長時間のアイドリングを避けて運転した。
・急加速・急停車の防止		急加速と急発進を控えて燃費の向上に配慮した。
・冷暖房の温度管理		適切な温度設定で空調機能を使用した。
・燃費管理		概ね目標とした設定範囲内での運用が出来た。
		各個別目標は達成したが、稼働人員の増加による新規車輛導入で稼働数が増加し、トータルの排出量は目標をオーバーしてしまった。
一般廃棄物の削減 （目標達成）		
・不要な印刷の削減		ミスプリントや不要な印刷が出ないように注意した。
・分別の徹底		地域指定の方法に沿ってごみを分別した。
・排出量削減の工夫		裏紙利用、両面印刷によって紙の消費が少なくなるように心掛けた。
水道水使用量の削減 （目標未達成）		
・節水の周知徹底		水の無駄遣いを無くし、節水を意識した水道利用を心掛けた。
・節水シールの貼り付け		節水の呼び掛けを掲示し、無駄の削減を周知した。
・清掃時・手洗い時の節水		効率的な清掃と水を垂れ流さないことに注意した。
		各個別目標は達成したが、器材の洗浄回数増加によりトータルの使用量は目標をオーバーしてしまった。
グリーン購入の推進 （目標達成）		
・事務用品の対象品目購入		グリーン購入の規格品を優先して社内での事務用品を選んだ。
・低排出ガス車の使用		三台の低排出ガス車を使用している。
測量における環境配慮の推進 （目標達成）		
・現場への最短経路での往復		無駄の少ない往路復路を意識して運転出来た。
・不要な伐採の禁止		選点や視通を工夫することで現場環境への影響を可能な限り小さくした。
・現地作業の効率化		余分な作業が生まれないように注意して行動した。
・燃費管理の導入		ガソリンの使用量を燃費と共に記録し、通年的な比較が可能になるよう管理した。
地域美化活動 （目標達成）		
継続的な清掃活動		各月1回のゴミ拾いを実施した。

環境関連法規等の遵守状況の評価の結果

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	遵守すべき要求事項（施設・物質・事業活動等）	評価
廃棄物処理法	一般廃棄物の収集・運搬業者の許可の確認	遵守
消防法	消防用設備等の定期点検	遵守
フロン排出抑制法	空調設備の定期点検と記録の保管	遵守

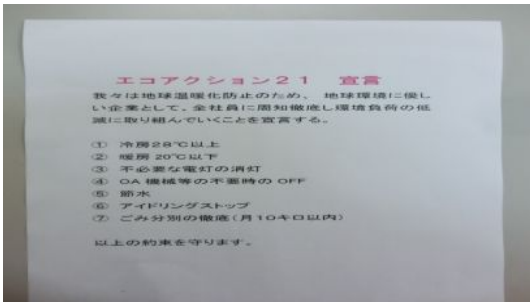
環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていることを確認しました。
 なお、環境法規制等への違反、訴訟、環境上の苦情等も過去ありませんでした。

代表者による全体の評価と見直し

当社ではエコアクション21の導入以来、未来へ向けた継続的な自然環境の保護や良好で暮らしやすい地球環境の保全に向けた活動の大切さを理解し、取り組んで来ました。現在は各社員の環境に対する意識向上のために、勉強会や清掃活動、地域理解等の時間を確保し、学習の機会を可能な限り設けております。
 参加当初と比べて環境活動にも積極的に取り組み、グリーン購入や地域清掃も継続的に行っています。
 二酸化炭素の排出量については、社用車の台数増加で総計こそ未達成でしたが、電力消費量の項目では高い達成率を示しました。大きな要因として空調設備を新型にしたこと、窓際に栽培したゴーヤによって遮光性を上げたことの二つが挙げられますが、この数値も各人の環境配慮の姿勢があってこそ得られたものでしょう。
 今回の結果を受け、次の中長期目標では、現在の車輛稼働数から適切な値を設定し、より気を引き締めて環境活動に臨まねばなりません。

2017年10月24日 代表取締役社長 倉本

環境活動の紹介



<エコアクション掲示板>



<ごみの分別>



<省エネ(LEDの導入)>



<節水>



<清掃活動>



<ゴーヤの栽培>